

大会参加・研修報告書	
1. 大会・研修会名	平成30年度 社会人バスケットボール連盟 九州ブロック 審判講習会
2. 研修期間	平成 31 年 2 月 2 日(土)～3 日(日)
3. 参加者	山口 勝真(佐世保)、朝村 博和(佐世保)、片岡 瑞季(島原)、久原 裕未(佐世保)
4. 日程	2 日(土)座学研修「3PO ベーシックについて」堀内 純氏、北沢 岳夫氏 実技研修 男女1回戦・2回戦 3 日(日)実技研修 男女決勝・3 位決定戦・準決勝
5. 研修概要	<p>■ 座学研修「3PO ベーシックについて」堀内 純氏 →3PO のベーシックの確認をしながら、PGC で共有しておきたい内容を動画を交えて提案していただいた。動画を用いた PGC では、時折動画を止めて、気づき等を発言する形式で研修を行った。北沢氏にも、トップリーグで行われている PGC の紹介をしていただいた。</p> <p>■ 実技研修(すべて 3PO)</p> <p>《山口 勝真》</p> <p>① Red Thunders(鹿児島2位)—CHECK MATE(沖縄1位) 【CC: 山口(長崎)U1: 浦田修平(宮崎)U2: 米丸尚志(宮崎)】</p> <p>② 福太郎めんべい(福岡1位)—Spotty Crows(佐賀2位) 【CC: 山口(長崎)U1: 平田朋也(宮崎)U2: 鳥羽瀬暁天(鹿児島)】</p> <p>③ HAWKS(福岡2位)—Red Thunders(鹿児島2位) 【CC: 山口(長崎)U1: 山城力(沖縄)U2: 徳丸昂(熊本)】</p> <p>《朝村 博和》</p> <p>① 日田協会(大分2位)—Magic(宮崎1位) 【CC: 古後宏和(福岡)U1: 朝村(長崎)U2: 山本一史(佐賀)】</p> <p>② Panthers(大分1位)—日ノ出ホルモン(宮崎1位) 【CC: 紀伊孝哉(佐賀)U1: 朝村(長崎)U2: 中屋敷大(大分)】</p> <p>《片岡 瑞季》</p> <p>① REBELLIONS(熊本1位)—中津協会クラブ(大分2位) 【CC: 小川隆三(宮崎)U1: 佐多裕樹(宮崎)U2: 片岡(長崎)】</p> <p>② REBELLIONS(熊本1位)—中村消防煌(宮崎2位) 【CC: 柿原実(福岡)U1: 片岡(長崎)U2: 山城力(沖縄)】</p> <p>③ REBELLIONS(熊本1位)—ひらまつ病院(佐賀1位) 【CC: 西村かおり(熊本)U1: 平田朋也(宮崎)U2: 片岡(長崎)】</p> <p>《久原 裕未》</p> <p>① WOLVERINE(熊本2位)—日ノ出ホルモン(宮崎1位) 【CC: 久原(長崎)U1: 上野山靖(福岡)U2: 初瀬真由子(鹿児島)】</p> <p>② 中村消防煌(宮崎2位)—UNITEX(鹿児島1位) 【CC: 山崎誠二(福岡)U1: 久原(長崎)U2: 徳丸昂(熊本)】</p> <p>③ ROUTE3(福岡1位)—日ノ出ホルモン(宮崎1位) 【CC: 柿原実(福岡)U1: 石本修朗(宮崎)U2: 久原(長崎)】</p>

6. 研修内容	<p>■座学研修「3PO ベーシックについて」堀内 純氏、北沢 岳夫氏</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)ベーシックなエリアの確認</li> <li>2)メカニクス</li> <li>3)テクニカルコントロール</li> <li>4)ガイドライン・new ルールの確認</li> <li>5)バイオレーション・IRS のタイミングについて       <ul style="list-style-type: none"> <li>→どのカテゴリーでもベーシックは一緒。トップリーグや地元の大会でも PGC の内容は変わらず、普段からやっていることを大事にしている。トップリーグだからと言って特別なことはないし、3人での協力が一番。</li> </ul> </li> </ol> <p>補足)CC メンタリティとは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→決断力、カリスマ性、リーダーシップ、オープンマインドセット</li> <li>※CCM という言葉だけでなく、自分なりの考えを持っておくこと</li> </ul>
7. 所感	<p>《朝村 博和》</p> <p>ローテーションをスムーズに行うことが課題になった。スイッチサイドのペースを上げること、チェック・アウト後からスムーズにローテーションを行うことで、より良いポジション(アングル)からの判定につなげたい。</p> <p>《山口 勝真》</p> <p>CC メンタリティやメカニクスが課題になった。初日の講義で「CC メンタリティとは何ですか。」という問いがあった。それに対する自分なりの解答を持つことが大切。また、PGC は初めてのクルーということで入念に行った。両チームの特徴、メカニクスの確認に重点を置いて行った。特にクロックの管理、ローテーションのタイミングについて共通理解を図った。その結果、ゲームでもスムーズに運営することができた。</p> <p>《片岡 瑞季》</p> <p>ブロックの社会人大会ということでプレーもフィジカル面でもレベルは高く、いかにそのゲームにアジャストして判定していくか難しいところもあった。改めて3人のクルーで協力してゲームを運営していくということが大事だと感じた。3ゲーム担当させていただいた中、2ゲームは講師の堀内氏、北沢氏に入っただき、映像を使って細かくご指導いただいた。ベーシックなメカニクスをすることがゲームをスムーズにすることができる。今後またメカニクスについてもう一度見直し、どのクルーでもスムーズに運営できるようにしていきたい。</p> <p>《久原 裕未》</p> <p>CC としての決断力、C からのアングルの取り方が課題になった。テンポセットで、クルーにも選手にもプレゼンの仕方も含めて意図をはっきりと伝えていく。C のメカニクスについては、間違っただメカニクスをしてしまう理由が明確になり、考え方のヒントを多く得ることができた。プレーとクルーの位置・アングルとを結びつけて、1歩でもより良い位置どりを確立させていきたい。また、声を有効に使ったプレゼンも実践していきたい。</p>